

令和元年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

1 基本情報

政策	政策5 富をつくる産業の展開		
政策の柱	5-3 農林水産業の競争力の強化		
議論した施策	(1) 世界水準の農芸品の生産力強化		
実施日／班名	10月27日(日) 第5班	担当部局名	経済産業部 農業戦略課 農業ビジネス課 地域農業課 お茶振興課 農芸振興課 畜産振興課

2 施策改善提案

農業を将来にわたって持続可能な産業としていくためには、担い手の育成が必要不可欠である。幼少期のふれあいから、インターン、就農、自律した生産者、経営体へと至るストーリーラインと具体的な戦略、ターゲット設定をさらに深掘りしていくことが必要である。

生産性の向上は、魅力ある産業への1丁目1番地。ICTやロボットなどの新しい技術を取り入れながら、AOIプロジェクトで組成された事業の早期の収益化を期待をしたい。

また、農業高校や農業大学校においても最先端技術や視点を取り入れた全国トップクラスの教育機関を目指していただきたい。

価値の明確化は、利益と誇りの結び目である。世界水準とうたう農芸品の目指すところを、さらに具体化して、静岡ならではなることが重要であり、訴求力の高い商品展開を期待する。

生産者や法人のやる気と創意工夫を引き出し、若い力やよそ者の目線、専門家の経験をうまくミックスさせて更に前進されることを期待したい。

- 教育機関と連携した児童生徒の農業体験や高校生の農業法人へのインターン等による若者への就農のきっかけづくりや、外国人を含めた多様な人材への担い手につながる機会の提供など、様々な手法による担い手の確保、育成に向けた取組が重要
- 世界水準の農芸品として付加価値を高めるため、ニーズ調査やマーケティング戦略を立て、市町やJAと連携を図りブランド化を検討するとともに、様々な手段による情報発信が必要
- 農業現場におけるICTやロボット化、栽培技術の見える化の推進等、更なる生産性の向上を図るべき
- 企業や農業法人、農家と連携し、ロボット等の新技術の導入を促進しながら、更なる技術開発につなげていくことが重要
- 農業法人化を推進するため、法人化のメリットや成功事例を発信すべき
- 法人設立にあたっての支援を充実するとともに、設立後も経営のサポートに取り組むことが重要